

日本建築学会大会2025 レム・コールハース講演会

会場：アクロス福岡

地下2階イベントホール（900席）

福岡市中央区天神1丁目1番1号

日時：2025年9月10日(水) 16:00-18:00

16:00-17:15 レム・コールハース講演会

17:15-18:00 トークセッション

※レクチャーは英語および日本語への同時通訳で行います。

※同日14:00-16:00に、同会場にて日本建築学会主催の「WOHA
基調講演+トークセッション」が開催されます。

参加：一般公開(無料)

右記QRコードよりご登録が必要です。

<https://lecture-wr.peatix.com>



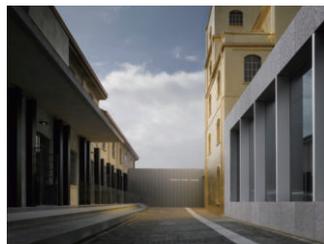
九州大学伊都キャンパスにて開催される日本建築学会大会2025に合わせて、現代の建築界を代表する世界的な建築家であり、福岡にも縁が深いレム・コールハース氏の講演会を開催いたします。氏は、OMA (Office for Metropolitan Architecture)とそのシンクタンクであるAMOを立ち上げ、常に時代の最先端を行く挑戦的な姿勢で建築の可能性を追求しつづけてきました。世界の建築界をリードする存在であり続け、プリツカー賞、日本建築学会作品賞など数多くの賞を受賞しています。今回の講演会は、80歳を超えた今もお積極的に活動を続けるコールハース氏の話、福岡で直接聞くことができる貴重な機会です。



By Charlie Koolhaas © OMA

Rem Koolhaas

1944年オランダのロッテルダム生まれ。ジャーナリスト、脚本家として活動した後、ロンドンのAAスクールで建築を学ぶ。1975年に建築・都市計画事務所 OMA (Office of Metropolitan Architecture) を設立。政治・メディア・テクノロジー・ファッション等を扱うOMAのシンクタンクであるAMOのパートナーも務める。主な作品に磯崎新氏のプロデュースにより実現した福岡市東区の集合住宅「ネクスワールドレム棟・コールハース棟」、「ブラダ財団美術館」、「台北パフォーミングアーツセンター」、「カントリーサイド展覧会」などがある。主な受賞に、日本建築学会賞（1992年）、プリツカー賞（2000年）、英国王立建築家協会ゴールド・メダル（2004年）、第12回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展生涯功労金獅子賞（2010年）など多数。主な著書に『Delirious New York (邦題：錯乱のニューヨーク)』、『S,M,L,XL』などがある。



主催：レム・コールハース講演会実行委員会

共催：日本建築学会九州支部、九州大学BeCAT、学生デザインレビュー

後援：日本建築家協会九州支部、福岡県建築士会、福岡県建築士事務所協会



日本建築学会大会2025(九州)：<https://taikai2025.aij.or.jp>

Rem Koolhaas / OMA：<https://www.oma.com/partners/rem-koolhaas>

問い合わせ先：becat.office@arch.kyushu-u.ac.jp